ツド空相增强を述ぶ

二機で六十機と交戦

伊鷲活躍

英結局ソピ提携

兩面の危機に益々焦慮

「する潮帆域もここに全く陥落した、我軍は目下殘敵を掃蕩中で潮州城内には到る處に、通げる敵を蹴散らしつつ 午前六時三十分には市内の要衝を完全確保し敵が最後の類な影をとりつつ○○部隊と時を同じうして各潮州城に雪崩れ込み無無極する殲滅戦を展展時半途に潮汕鐵道の起點潮州驛を占領、綴いて毛利、乾、正末各部隊も三方価から包息時半途に潮汕鐵道の起點潮州驛を占領、綴いて毛利、乾、正末各部隊も三方価から包息は七日早晩を期して組攻察を開始し怒漢の如き勢をもつて殺到、〇〇部隊の本部は午に

は早くも潮州の一角に突入、目下各處に激烈な市街戦を展開してゐる、

、開催、 葉り 交渉に関しター大駐リス時の 別元の場所では、大田の日本のでは、大田の日本の下に、大地チェンベレン部田司會の下に、大地チェンベレン部田司會の下に、大地・大田の田の一大田の一大田の一大田の

・央協和會を設置

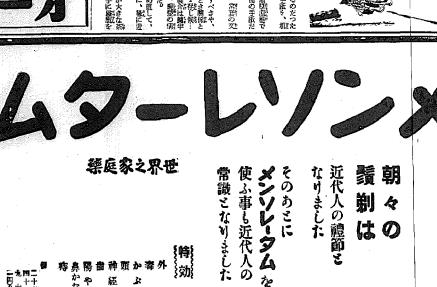
あす東京で創立總會を開催



剃

はの





MENEORA III

経 j. け痛痛痛れ虫傷

興型の意恵は船々掲る。

た | も だ | せ れ | も

日本メンソレータム本館

割

さほど來全在強弱鮮農民を打つて一丸とする献金の語を起し、各人の意はど來全在強弱鮮農民を打つて一丸とする献金の心のでした。 然情をこめて國防献金、高射砲、機關銃その他を献納したといふ。 然情をこめて國防献金、高射砲、機關銃その他を献納したといふ。 然情をこめて國防献金、高射砲、機關銃その他を献納したといふ。

満洲國は擧げて感激

これが合計實に二萬八干餘間に達したので、うち八干餘間を國防。啟組合及び各地農務楔を介して赤心の義金を集めてゐたが、この

我等の空を護れ

を青角 サポロヒヤホール前青素 三 越

七月三日

府民館 冷居装置

別照され木の根屋女別車はま時めでたくレー十分首串も可

兄城府民の防空訓練

愈よあす決行さる

京城の行事

耳鼻咽喉科醫院黑

一丁目五十二 (三世以)等

新七

煌草の大陸進出

年四百萬圓は大丈夫

食べて下さいネ ほつべたは おさへて

最大四条種

僕等は泣かない

少

F717

へ謹告仕候 に永眠 (立) 使問此段 御通知に 行効無く二十六日午前十時 政閣儀豫而臧氣奉養中の處

聚乙樂

雪の夜の別れ

是那個

忠治华日

記

制村

謹前而和 告十病取 仕時氣結

夏嶽燕

若き日の春日局

兄いづこ

以來の魅力話題篇!の威情を描き盡した「制めの體臭と新鮮な少女の

東和商事・獨ウファ超特作アイロス・メッケール作品 アース・メッケール 主演 アーフ アーシ 主演 グル・ダ ゴ ファール 主演 グル・ダ ゴファール 監督

戎崇高な精神を書ける

早朝割引

東宝

(100 to

カアサマボカボカーカアサマボカボ

電子をパラエウビ

鍬に千金の汗

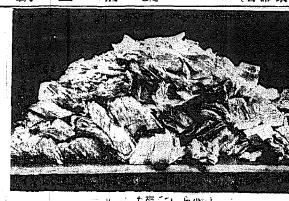
朝鮮神宮廣塲に見る勤勞奉仕

草東實映 DAS MĀDCHEN MI TRENE 劇場

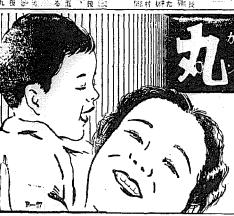
REGAL

小學國語讀本 小學國語讀本 ,第1— 三 別以市小學校 質

態度の闘明を要求 半島人側一部府民つひに憤慨







なか豊調情古懷 お箱港 永 向さ意 長 54 盤輯特曲名本日純 **麗美・**枚三盤寸十 村中・入ムパルア 付配解生先夫輩武

人院隨意 岛病

既然本属とも心臓 Á



京城水町 電話院長 醫學博士 旅上 電話(體) 輸販船

馐 內科一般 特二 中吸器, 心境, 四面

の子に25 デッイク・ 礻

果すため の重責をば

んして下さい

河道 三海でしてデック・

服部富子

反樂で…… ・保健の 見死亡率の 産率の低下に

むべき國力の

赤空です きです

前年の覇石木浦組再び優勝

を書き替へる今! 人口の多寡が世界の地闘

元見は必ず一気に動きしている。

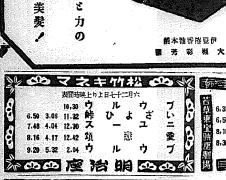
ふ時にノ 青便、胎毒に を料めの急場 を組の急場 おい小兒においかの前後

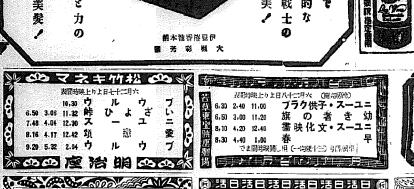
K=1199

曲夜宵春 力迫いしら帰業。亦之

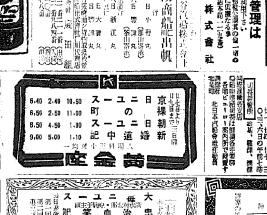
二健井櫻 若人に捧ぐノ 青春の讃歌! の子富部服

髮 力



















福出即特—— 子梅宋姆亚坊正大幅

引 受













おいて悔ひを後々に貽さぬ注意

れさへあれば安心高級婦人藥の發明

肌になるとかり







東東華洋省 車學校

○山瀬行 日本朝船定明出礼 護原行 東原行 東原行 東原行

いじ新き最 たに用煙 をれこ

き中・南支の濕地 クに連なる湖と沼

皇軍將兵の足を



袋には リンが入れられる 虫だ ンも○四 瓶小 シモ〇六 瓶大 夏 駅 にトーバア・店 薬 婦 全

口漢・東東・海上・津天・天孝・京東・収大 店 商 義 野 塩 社会主体 元法製ンリタルタ

證明 和政稅備必庭業 人 芳香 挺 据

+

H-13

舗本香練りとか住安 房 薬 大 住 安 麒

提自山丸 雌基蛋白 原建于自

〇大阪行 〇北部群 L川コッ配領政航 定州丸 万里州上月 1日 新僧団 日 L川 新春州七月十日 荊州州七日 [[川] | 漢 以 丸 **原際州七月古日 領官浦東日一川** 興 西 丸

四月指七日帰住ス 小水水間 200円 11 日曜日 20

(用紙申載灭第急送)

京人前周波打一名

頻りに英の無力を指摘

黒慶政府の死命を制せん



バゼ : は	3	à f	k K	吳	声数	
u deleggelt	si kurin	Control or	might which	The least of the last	of the Septions	W.
Н	1	肼	į	T	增	
<u> </u>	_					_
萬	⁾	蒙1	健康	を生		
¥Λ	刊	でょ	、	存活	新	•

世をは著しま 東洋經濟 戰 時 經 濟 法東 洋 經 濟 編 經 濟戀 年 朥 令 集 三 2 鑑 送料 十二 接四大和NH1○0頁 四次倍物五七〇頁 定位。 每 到 二十二百百

人の使ひ方使はれ方加藤直土著

南東京大五一八西東洋經濟 所報社

☆ 友邦ドイツの驚異的躍進を見よ!! 郎 著

新興ドイツの第三帝國建設への躍進はまさに全世界の撤

異である、著者はドイツの國防經濟の實狀のみならずその 政治と一體化せる國民經濟完成への道程を残るくまなく見

大| 詳細に論述せり | 第二、第三編はドッイ 經濟の羅進と特徴 | 第四、第五、第六編は労働政策、物價政策、私替政策を | 第二、第三編はドッイ 經濟の羅進と特徴 | 1 聞しドイツ國民の氣魄を身を以て體驗したるものである。

新らしき商品學の「言海」出づ

研究所井上兼雄著 ◇齢四十以上の方々に榮養讀本として…… 新班上於正文 定價一圓八十錢 西班上於正文 定 科 + 四 科

韓江を遡る

鐘紡實業と合作し會社を設立

於內容見本請求者以

说

英佛の完全協調は疑問

夕刊後の市温

回農具展

或る程度の

上野菊爾著

₹大阪八一三〇〇

北支炭の輸

教 社



にみ謄身爽嵐の人婦御 🖈 💪 一 🗓 ク水秀優 ★ に後り剃ゲヒの方殿



夏山は呼ぶ 干傷の飯屋・専門は豊き下おされた顔の虹マケル、ほけ畑の水片、海峡に頼む苦人の生命、腹様の町罩を想ふ時、夏なッケー、 時代畑の水片、海峡に頼む苦人の生命、腹様の町罩を想ふ時、夏なッケーは、 思慮はクライミングの間間

^一、總計金拾五萬臺千

緊耐人概念于四百拾四風拾四

皇軍慰問金

菱百貮拾八圓四拾六

、累計金六萬七千七百名四回多、日計金四回也 五年 禺 高 榮

全南光州北町

八區 雪山 安市 二十九日生 二十九日午後

係員の初顔合せ神宮大台演技部

十一、最高级市 三十日午夜一年二十二届 中部市 二十九日午十二届 中部市 二十九日午二年二十二届 朝鮮 (関係) 未决定十二届 朝鮮 (関係) 未决定

後援

朝鮮軟式庭球聯盟

・ジャコプスに對し十五萬時か

英、十五萬弗を投出すご

を原統してゐる

常のファは最近ロンドンへ来の

本玩客話補金

國防献金 |大月廿四日波|

した唯一の顕立ファ(英)は目下「疑つてゐる抗も抗気臓のプロモー【ロッドン特化】ルーイスに寒戦」〈復鸞の野祭を拾てす明りと物を

ーイス招致に

- 區 吳市 変麗

場日

所時 全鮮庭球選手權大會(對表 催京城日報社

京城運動場 庭 球 場七月二日(日)午前九時

各代表の原理歌

いて聲をしく開催せられることに静雨意加の上京城府段極繁電にあ **吾古屋代表・横潜れ表の人域に** 一十日の島松代表の人域を

一二次維手でガアナー副次統前が打造としてした。一二次維手でガアナー副次統前が打たがよう。一二次推手で対した。一二次推手では、一二次推手では、一二次推手では、一二次推手では、一二次推手では、一二次推手では、一二次推手では、一二次推手では、一二次推手では、一二次推手では、一二次推手では、一二次推手では、一二次を一次を<l ので水泳河麓夏季に行ふる同山野道で教育し、戸州茂の茶面に党策状態。各種茂勝騰的校の海原 したで帰に手をかけてゐるのはミンガーでカケート副大統領が打香といわか

△爾▼七月一日 慰安東南湖 大石茂雄、石原光型《中平元史明、遊擊》 曾田丁《中平元史》

全國都市對抗卓球

各都市代表續々來城

満洲遠征へ **籍鐵理** 茲陪

宇難その他 京城府の住

さくやかな感激による

とうにも家がない、ないて来て見れば、借り

新歌家屋の家位は常島

配ふだらうが、 の収録方法にも困點が

仏を注意的とい

掘す不満な京城の名

物價も非常にまちくってでらず、その他のす米の値さはうまく行 段は制備格は政府で公式は制備をが、日常 高いと思ふっ 定されてあるにも抑む あたりで調査してその 術を質問に産まり

いのは彼て、不思議で

は注外に高いからだ。

胃腸病、 **以應明確** 廬 0 弱に

生來の體質のせいか、年齢因が、胃脇の障碍に基くか のはげしい状態は、その原入らぬ。――かうした疲労なる、讀書をしても頭腦に がだるい、頭が重くなり仕
おきに抜れる、肩や四肢 の關係または過勞のためで 事をついける根氣に乏しく こぶる警戒を要する衰骸であるかは兎も角として、す じめる。 細胞に活力をそそぎ込む作いはれてゐるほど、全身の <u></u>ネ ルモン活用剤ネオ

常するではないか。――車| ーなぶ薬物は、人體を輕くられたい、液態した鏨に該 に融つてくる。ネオネオギ的れてゐる尚車を懇像してみ | かれる代りに、活力が體内 形態をとくのへる賦形薬と 素を配合し、さらに、葉の一キン、人體に不可能の栄養 て、全身から疲勞素がので、ホルモン作用は旺盛になつ のほかに、貴重な動物ポル 配合し、さらに、葉のなん、大のでは植物キルモンない。早く渡野を忘れ常にに活力をそをぎ込む作ない。早く渡野を忘れ常にに活力をそをぎ込む作ない。早く渡野を忘れ常にに活力をそをぎ込む作ない。早く渡野を忘れ常にに活力をそをぎ込む作ない。早く渡野を忘れ常にた活力をそをぎ込む作ない。早く渡野を忘れ常にたいた、貴重な動物キルモンがに對する根氣を進めたいかに、貴重な動物キルモンがに對する根氣を進めたいかに、貴重な動物キルモンがに對する根氣を進めたいるので、特別・ り細胞は賦活され め、てれらの総合 の~1フエを加へ

購求に就て

か、仕事そのものが苦痛でしれのに、からいよ脆弱な響さ

仕事の能率を上げねばなら

一戰時一

平常の幾倍も

康恪益々低下するに至る。 もあり、むりをするので健

てあるた

して活性

作用によ

一油 が一ながら引張ら

刺み

ある。

十二十三 初一ヶ月隆巌金一回五十項 十二三 初一ヶ月隆巌金一回五十項 水の側のり、金剛楽店にあるり他加来 ルモン要は本郷にては水ネネネギー このが茂、かならや相定な半辺らありた しているだっな。数はは時間で強ない まで中込みははいている。 では、大変で中込みれば代金月 でいるをは、数単で中込みれば代金月 でのかで、大変で中込みれば代金月 でのかで、大変で中込みれば代金月 でのかで、大変で中込みれば代金月 でのかで、大変をは、計時で別値ない。 申込所

當するではないか。

廻す油と考へられやう。

その日から

がすべんでくるが、これは、本品を服用すると、食品

反應は

體質

なめらかに、軽くまはりはしてむと、今度は、荷車は 電は に、 祭養の吸収力をよくすに、 祭養の吸収力をよくすに、 祭養の吸収力をよくすらでない作用が 發揮されるから、胃腸病の人、胃腸病の人、胃腸病の人、胃腸病し、 糖を旺んに はなこぶる適切とおもふ。

時の汚れを落すために、コールドリになると質疑け止めに、外出

クリームやオリーウ油の消費が増

お確全額に塗るのです。形れそれをコールドクリームのや

臓油と水を筆で押つて、どろど しませう、方法は、黒砂糖と胡 除くには、初脳油のバックを致

の職して消費生活に当時して正

部が開然の立場からこの間一般

オリーヴ油以上の効果

、概能は資訊機が多く使はれるや

ですが、えそで思いても聞く笑

母水浴→これで安心

配機能験は簡質人でない違人の

けたのではちつとも標識になり、質よのに揺話で二回・三回もか

に気をつけて聴聞人に乗せられ れることです、 のやうにナ

でもう現住では最も特要のある

思ひません、ひたすら図式としています、婦人心脏恐に問題にお自身の観察版で得から云々しょうとは の今事題の活動の目録してとなり

化粧を

貝沼梅子女史談

改良せよ朝鮮味噌

将來は忌噌ら四鮮一

|住根率] 何でも石耐をいれてま

止ずれば

て、日本婦人としていよく

れる洗心は扱いてをります。し かし順常は収掉らしく小分目際にお他 便することはかくつて温湿さが あってようしいと思びます。婦 あってようしいと思びます。母

の問題(5)

海水浴をなざる間には、かうし

でを食べられますか 地を食べられますか の方も内地味 は友育では男出して既に實行に移

古割箸の使途

が遊むにつれ観楽の展覧を取去る

掛け値も悪いが やめたいねぎる習慣 ◎經濟警察よりやま話◎ らた、映画像や飲食型を見て選っても大概の房は別に出すタオールが溜とスプ人りでした。 大概の房は別に出すタオールが溜とスプ人りでした。それ

お魚を くづさず激る

で、脚脚も脱資もすぐ不認はながけげしく、肝を疑んに対くのがけげしく、肝を疑んに対くの

の観でこしらへる場合は引か取

豫防に 治療に

チミツソン

不良を起したりするので、常に野さの不供から食態がかく削別

外にするとです(京城松路前) 短距離競走 青衛聖

主解手帖

夏は清潔に(

寸入れまして肉曜子にしお代の にしてメリケン粉少館と贈っ の後に残りましたそぎ中は間小

乳兒の肌着

◇これは「戦の小夏店の方に特に は必ず正確な正穏をつけてお祭里上げたいことですが、商品に 防がはがれやすく、父郭の ます、歴や嫌などはとかく ます、歴や嫌などはとかく ではつきやすいので、

のない。 か立てゝから入れ、中火で か上げるとよい、朝の他を をするときには、一世寺城 たさ、 お願油はよく 和製な、またさ、 がありない、またま、 が開油はよく 和製油はよく 和製油はない。 形も決してくづれません だけで無てから味をつけるにして陽に干し一時間に水

一般家庭にとつて何より大切か

れる方は、必ず大

いのでお子達は暮こんで服みます。 當して下さい。 早い手當はそれだけ早 軽い内にチョアシンを與へて早目に手

してをられます

されぎつたりしない様に、ねむとしての一般衝散の万事情

えその皮で巻く 美味しい八幡卷 暑さ時の簡單料理

うに包飲はなるだけ際化さでせらか、朝鮮も内地のや

6個名などかへつて同ばれるかと が被法校しますから味の測算ないがないませう、夏場は見自食

デビユー 羊毛代用品 蠶毛 日本繊維科學に凱歌

これとして関味で水源にしてお

が、寒く時に吹用なやうに近い、は料が漏を吹吹されて来ましたが、歌り時に吹用なやうに近い、は料が漏を吹吹されて来ましたが、歌の際記として将来ます! が順ぎのに乗します。たれは砂・気味が漏を吹吹されて来ましたが 歌原 と覧が多いわけで砂・が開催してましてよく吹いたの一概れました が料が超々研究されて来ましたが「歌吹した歌が多いわけで我が展館者の統計以来、これに代る新典」のです、それでこの歌者は学老

便心地のよい 電氣火熨斗

體位の向上を目指して肉體的 の内に一掃することが必要で かし、運動後の疲れはその日 錬に組好のシーズンです。 嬰所 (一に サロメチールを塗 それには湯上り後か寝る前に

擦して置けば、翌朝は又朗ら

うちみだ くじきだ…といふや れた、或は不聞したはづみの 激しい作業で、クタ (一に 登撥して ご覧なさい。 これ うなとき すぐサロメチール

が、手フ取り早く痛みを散らすのはずこんな場合、注射や服み薬も簡稱です 又あすの転めが眺らかです。の故障が速やかに解消されて ロメチールです。たと思部に振り込む ロイマテス、神越旅或ひは古傷の



大日本建設會與設社 前 17 前

夏はお髪の荒れる時、 水郷に黒、を触んで、髪を荒らし、脚毛から、今のうちワカミブで徹底的に除かないと うす毛、若禿、禿頭へと進行するのです。 禿げかけてから狼狽する位なら、 先づフケ、痒みのうちにワカミツを! 曲者です!!

リカミツで製の汗ムレや日焦けを防いて!! くすが~~しい黑髮を保ちませう!

的症状に緊し強力な曖昧的体化一、毛根や節度を凶強にしてその通 ワカミヅの 五大特長!

三、毛髪の配件及び他科を組織し、 の機能を旺盛による二、毛根に壁器を活力を積給し、そ を脱却する

四、毛髪に荷々した自然のほと魅力を削る

近、寮鉄な使用窓ではついよい事も賽毛将中第一位!

今フケ・痒みで図る人に ▲病的に脱毛する人に

会若禿を心配の人に 毛生をお望みの人に 髪の汗ムレするへに

政宗英容家を始め全國の原用者提つて加

生につき語ではボタクに方 「雄雄」「で自大・京園を探じこ」は確常に強而を由てる跡を設ける。 と考、これが護療、配置、 雄尚、漢港」「で自大・京園を探じこ」は確常に強而を由てる跡を設ける。 本は高、港に、「立は総り、それより直接であって、この目標は 「最高」「配数・取文信中版」 本は、「は、「では、「ないの子を水溜」 本は、「ないの子を水溜」

昨年最盛期突破一萬二千名

川商議からも希望

城

營

林

署

1000年

賣

木

京可装入

またあと! 三萬人

紘基柱建設に

北≥石材寄附

連日祝賀の餘興で賑はふ



あれもこれ



機能の際に触いるため態数値を | 目標に向って実施してあるが、各一般性に同校等率生一同と相計つ | 数単層家を指示性能し、最末度輸出を持た可模容器生を開発してあるが、各一般に対してあるが、各一数に対し

この師の下、嬉しこの教へ子ら

各自五圓を献金

北北鮮

式會社城津支店

水原和勤勞隊の赤誠

周波重

株式會祉

耐されています。 ・ 一部では、 ・ 一部できます。 ・ 一部できまする。 ・ 一部できます。 ・ 一部できまする。 ・ 一部できます。 ・ 一部できます。 ・ 一部できまする。 ・ 一できまする。 ・ 一できまる。 ・ 一できまる。 ・ 一できまる。 ・ 一できまる。 ・ 一できまる。 ・ 一できる。 ・ 一できる。 一できる。

特別案內

る人の話をお売うける

I

摥

省

總務部長

豊

茂

買入れ値段を協定

サと押掛ける棉作視察園

回回

第二次第三次

橋梁流失なぞ

城海南工會議所 城津

城津自動志 灣漁業組 名正 雄

城津電柱株式會社

天德興業株式會社

柱統卡指官首號人

日本工業合資會社

Ш

が確め取出なく、理事用は、全物が確め取出なく、理事用は、全物がない相談として財験

「要商品で)ある 統領大事

木材の事なら

製材のサイの批合了

この確信の代表戦員である小島
田宮氏に年降の江戸等って、第一派の 年元十一派の動き路り、大田町 解の 上にはこの地方をつての社で場。後後 上には一次地方をつての社で場。後後 上には一次地方をつての社で場。後後 上には一次地方をつての社で場。後後 上には一次地方をつての社で場。 を してある人格音、故に当の「お

類、多下、協政事で、この原院の 光は内地・旅の大阪関係、中山製「供 東部にを駆の倒路を見、その取用

股例の大なるは北壁において**も**

| 4 生いる人に三田三曜三氏がある|

職職を疑った場合という。 を関するという。 を関するという。 をはっている。 をはな。 をはな。

二田氏の手腕愈冴ゆ

ベニヤ板七の別多種の資材を収費 概じく、令第二田省作氏を支配

九三郎行の種展は最近いよく

Į

ر <u>ت</u>

を置るべく削立されたもので、名誉をの後による産業の職大量化 一年六月二十六日阿萊の町に沿ひ、明和十

食食品当日和製売所、豆腐工林 同食品を設大所製品に誰を取ってめた。てぬる

貌全の寧會關北るす動躍

a動するが、近き樹枝には

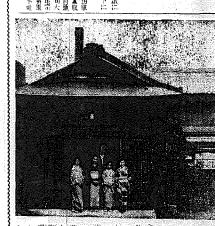
統合同した一つの大麻海線トラストの合同した一つの大麻海線下の五三県

同会部35首本会 白風風 (中間

「経盛をあげば、気に第一郎一分とい、満大されつとある。 歴史氏が哲学、アケチュー島側の 一般質型のでする

糖设相減役皆村技市▲河大商投嘉和第二▲同智村位夫

題る 一関作業をも行ふ計用の下に



枕の下で私語く

ハー版をたよりの困難の軽人のまりいって加れる豆腐の芸儿を場に依 た。慰安選である あっけれ、道に

見満の流れが

社交の殿堂『美よし』

歌せどの小母の『寒神神谷美上 せる場かで、一度立命つた祭に歌 室、どれるスチーム装置あり一断

美に見とれつゝ、店内に足を入れ 現代式に装飾せるショウインドの

と郷語、巡覧具等の商品が殴る

原内に山積してゐるのは、見台貨

しては音響に限らず、北戦 この鈴木商店は無路、運動具商 な作権である、職人・ 例に、あるはれ、単に、作り、 一美よし。 ・昭和十二年の

> は完全に把握してゐる馬である を持ち、この邊一帯の斯別の高原 順定くは海洲最間島方面LIZEES



一般には進んで指導の役となり、

つてもこれに富るといる自己犠牲 ボーツのこととなれば何ごとが 曹及に努め、特に曾郷のスポー 敵、散聚がには身を以つてこれが

旅館

博

出身にして開店以来十條年間

こしの出生給木幸夫氏は官児

煖房一裝置。完備 室內優美、豪華新館完成

的な微微に値する人格者である。 よって理信は関校組合職員の重 人である。從つて

の館大正通りの中語に住し、羽な ニースィランがある、国内のキナ この総木氏の標準する場にカ ンである、原子やす

一義しきムスメのサービスは脅烈者がく取解へた機関は、中五人 シーズン整るごとに、時節の衝撃によられる場内は、 を謝売し得る最適の批シーズン整るごとに、

酒場の王者の名轟く

旋律は東滿まで 樂器と運動具鈴木の定評

土建界の寵兒有元 半島の南北を股に 默々と快腕を揮ふ その名聲を四海に富揚 全十二年にはいといる 一人側の地盤を樹

測地内の大道路で事、

たし酸固たる地震で今日の氏に質地と感謝で今日の /川安路の建設者、 月元

> は異敬おし能にさるものがな 中高標の脈路工事等孜々歌・ 含人心臓の四ヶ所の 情楽主が

して活躍、同四十八に別り道さに大名

が、別論成階級 第二次語成階級 第二次語 Bにかけ、京成、京雀の主戦 藤果、氏に半島の南北艦さ

所、名が至五名の緊急官を建て管院を所順派出所十二ヶ所、一 不が整備管内八十五方甲に監察

政病の建設に整闘を削にして

「非海に面職、今に極道

國境の護り

會寧警察署

日夜警備に料蘭

の下に時島部高価関策整備に借つ **鄭貫二十二百七十名は監察官衙**

この、又二十七部贈よりなる目的

支那事他の職界に出て了最

と明し、このの【書館】 川田を改唱

と自役の動員で低に常つてゐるが 後引

ら順べる人乙面都語版

され、か高和職を利用し城中の中人の私来を表現の市政に歴史と伽藍 とれてきてある。 とりも、台湾の市政に歴史と伽藍 ・ キラんとなじまれてある男である。 スポーツとミューギックが死ん。を強へる機動として、民政にフィ

耐火煉瓦を製造する

會寧製陶所の名聲 傑物伊藤林藏氏の辛苦結實

行の耐火機関を製造する音楽製造

金物業界を牛耳る

小島商店の偉容

販路は網の如く擴大

の製鋼所は波型曲折の風の土

が出来上り図ってれが失敗などの計画に乗ぜられて興奮の定場があった開始したが常時属工事があった研修して興奮の事品 け伊州林が氏の郷郷するところ 家庭用向食館園選を目的に大々昭和八年組合組織に依つて関解

少北鮮合同電氣紫會社 會 支 店

製制所のベストの輪頭も繋り

支 社 店 長 長

菅 小

原利章

題孔の小型ます!(増大し) 歌の秘服は實に目までなって

> 鍾 鍾 城 城 郡 郡

會

廳

援房装置完 机鲜代表的旅 完旅館

鑑

_{番門}館

持會 電響 話驛 无 前

火 通 『屋

會寧公立商業學校

利用

尿城府で實施を協議

の體位檢定















豐語泰川出張所

商業登記公告

咸興地方法院

よいミシン 買ひよい月賦

法人 於二、公古 超潮放相原等。由于由祖廷 中国和指四年五月五月日祖廷 中国和福四年五月五月日祖廷 大原 明朝指四年五月五月日祖廷 大原 明朝指四年五月五月日祖廷 大原 明朝 新聞 一

原理 (直発分割全組七十を所) (直発分割全組七十を所) は 日八十一二地

經濟水原支廳

所实研集化信果族

支稿ス、四級アル省へ優調ス

林權助男逝去す

华天市鐵两區勸工街三段八號 |漢別相収度シ、而會日へ追而通知×、採用者ニへ 三十歲刑後属了內爾三原用ヲ行スル機械修顧又 十八歳ヨリ三十歳諸ノ内油ニ原塔ヲ有スル小煙 滿洲電線株式會社 若干名

、素人工

校舎業程度ノ番

- 人間付等上原設アルギ

職

I

仕上工

池田知事の感激!



(中人日) (中人日 大家の恢復と報 東不定に用地は 東不だない計画は 東不が然し肝育 のためは目標れ でこのまき高値を出現す。 一中海軍の状態である人 のためは目と中 がであるから此路に強して理く必要があるからに限してではらいですしたれが新費 ないであるから氏があるから氏路に強してなるが を放びてあるから氏があるのできしたれが新費 とにはしているが はいのであると中 表が図りたに配してなるが まから高級して程うと中 表がであるから氏があるるがに配してなるが まから高級して程うと中 まから高級して担ると中 まから高級して担ると中 まから高級して担ると中 まから高級して担ると中 まから高級してはるか まから表がない。 はないがあるから はないがあるがら はないがあるから はないがあるがら はないがあるがら はないがあるから はないがあるから はないがあるがら はないがあるがら はないがあるがら はないがあるがら はないがあるがら はないがあるがら はないがある。 はないがあるがら はないがら はないがら はないがら はないがら はないがら はないがはないがあるがら はないがら 3 (1枚) 1 (十百) 1 内地物(十百)1 一種人!! 商):10°QO は平凡かまと別さるであった。 シー (教) ≓. Æ 四号式式 公園を置 "大·甘麻" "衣株 寿令 (全) 他写合汽 船縣 出 机 新维度管键电色镀色 新维度管理电路标准张式育电 工厂用的 计可见的 地名阿里 **周別取券證取**期 事商鮮朝 部 経取別所取りの 短期部。 同期農業物明 孫嗣 日京京同意第四三二一明史同期同時 市期接触抵重水位 新立各界 山海東新南新鐵器市 俄斯里 基金包列馬基 西公兰台西省古马马斯大三 为不是 基金人〇八〇〇三 七〇四〇 三八二 日本本 五二三 〇〇〇 京城府明治引了日三和株式現物店 シ 親切をモットとする 堅実を誘り 郎次亀中田 長社 重 田原取引店 水浦出烈 代理店日歸鄉運出設所不 答 造 C川出明代理店目解海運車式會赴 院話五〇番 玄 海 丸 八月小九日 群山出帆 代理店 部山海運會赴 田 新山 新山 新山 海運 **政定自動車株式** 資出 変項 電出 数 多千株 電出 能数 多千株 電出 能数 多千株 電出 能数 多千株 電池 部 第一部 車 込 軍位 空道板 電標用取送行り候間同至網用 デン語頭上候 (在氏車 で こ を送)

益 城京公金券益

《源山本源作商店 京城府明治日